

# テーブル毎の発表内容

宮代町の10年後を話し合うワークショップ

平成30年11月17日(土) 10時~15時 進修館大ホール

## 1班

- ・自然が残り、ホテルのいる町を残したい
- ・ごみ拾いをしてきれいな町づくりに協力したい
- ・日工大の外国人と子ども達との交流の場があればいい
- ・地域のイベントに協力していきたい



## 2班

- ・子供が増えて活気のあるまちになればよい
- ・子供が過ごしやすいまち
- ・豊かな自然を大事にしながら活かせるような町になればよい
- ・自治会長の仕事は年配者だと大変そうなので、人選をうまくやれたらよい

## 3班

- ・子育て世代がたくさん移住して、子ども達でにぎやかなまち
- ・高齢者の娯楽施設があるとよい
- ・子供が遊べる児童館などの施設が欲しい
- ・町民から不要な本を集めて空き教室に「みやしろ文庫」を作りたい
- ・ほたるがたくさん飛んでいるまち

## 4班

- ・キーワードは宮代町のブランド化
- ・中心となる農産物をブランド化していく
- ・既存の日工大や東武動物公園を若い世代に広く発信していく
- ・西口開発
- ・高齢者にやさしいまちづくり

## 5班

- ・西口開発は子育て世代が暮らしやすい場所に
- ・商業施設、スーパー、病院、保育園、学童が入るとよい

## 6班

- ・西口の空地を使った複合施設があるといい
  - 多世代が集うカルチャーセンター
  - 農のあるまち、農業を活かせる直売所
  - ミニ動物園

# テーブル毎の発表内容

宮代町の10年後を話し合うワークショップ

平成30年11月17日(土) 10時~15時 進修館大ホール

## 7班

- ・高齢化による農業の後継者不足問題
- ・移住者を増やすためにレジャーを増やす、企業を誘致する
- ・西口開発、人を呼ぶためのショッピングモール、英会話教室など
- ・高齢者が集まる施設を作る
- ・高齢者外出をサポートするバスを増やす

## 8班

- ・東武動物公園に来た人が立ち寄って休むような場所がない
- ・おいしいお店ができたらい
- ・西口、東口の駅前開発により、杉戸や他の地域からたくさんの人に来てもらいたい
- ・西口開発に住民として「こういうのが欲しい」という意見をたくさん言う

## 9班

- ・キーワードは高齢者のケア
- ・スーパーが少ないので宅配システムを整える
- ・クラウドシステムを活用して自宅で役所の手続きができるようになればよい
- ・カフェなど年配者が集まれる場所を作る

## 10班

- ・宮代のよさを活かして市になるために人口を増やしていく
- ・商業施設、働く場をつくる
- ・子育て世代と高齢者が仲良く暮らせるスマートな町
- ・インターネットで子育て世代に訴求し、人口増につなげていく

## 11班

- ・自然を活かす
- ・既存の施設などの自然を活かした再開発ができればよい
- ・町の中心にとらわれず3つの駅を中心に各地域の拠点を自分達で作っていったらよい
- ・西口開発でミニアリーナとミニメッセを作ってもらい、地域と若者達と結ぶ

## 12班

- ・国際交流を深めていきたい
- ・自然を残して、今あるものを活かしていく

## テーブル毎の発表内容

宮代町の10年後を話し合うワークショップ

平成30年11月17日(土) 10時~15時 進修館大ホール

- ・若い人と高齢者との世代間交流できる場所を作ってほしい
- ・宮代町で働きたい、起業したい

### 13班

- ・西口駅直結で専門学校、大学を誘致する
- ・学生や若い世代の労働力(雇用)が生まれる
- ・福祉に力を入れていく
- ・西口開発に町の声を反映してもらう